

スーパーフレックス

加熱施工型注入目地材/加熱クラック注入材



箱 / 13.6kg



4年経過写真

スーパーフレックスは柔軟性と接着力に優れています

ミニメルター10 施工能力: 1回45~90m 溶解時間: 1回 1時間~1時間30分

スーパーフレックスはアスファルト舗装及びコンクリート舗装のクラックシール材です。冬場の割れや、夏場の気温により溶け出すことなく高い接着性と柔軟性を持った製品です。直火型溶解釜で溶解できる素材です。

■ スーパーフレックス性能一覧表

加熱型目地シール材(高弾性タイプ)		
試験項目	規格値	備考
針入度試験(A102)	9mm以下	舗装設計施工指針
引張試験(A102)	10mm以上	舗装設計施工指針
流動試験(A102)	3mm以下	舗装設計施工指針
弾性試験(A102)	初期貫入量0.5~1.5mm 復元率60%以上	舗装設計施工指針

クラックシール材			
評価する性能	試験項目	試験結果	備考
割れ抵抗性	応力緩和下限温度	-21℃以上	舗装設計施工要領(首都高速道路株式会社)
割れ抵抗性	破壊回数	5.93万回	舗装設計施工要領(首都高速道路株式会社)

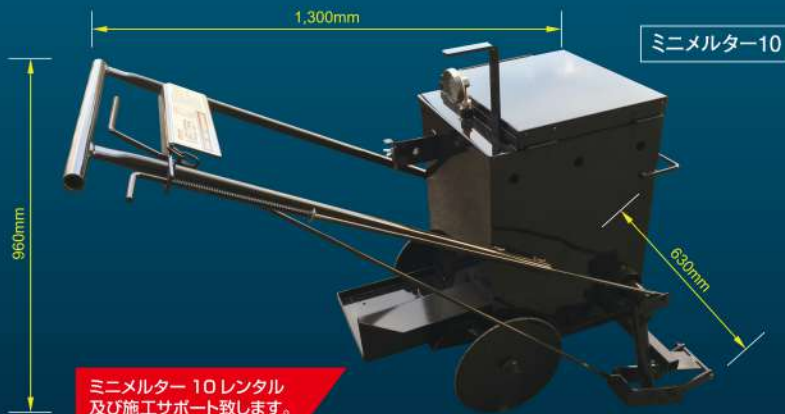
標準仕様		
路面温度	-10℃~70℃	クラックカットシール施工の場合
路面温度	-28℃~70℃	クラックシール施工の場合
加熱安定温度	204℃	
作業加熱範囲	193℃~204℃	
交通開放時間	30分	

実用新案登録証 登録第 3213352 号

MINI MELTER 10

■ シール材注入機

容量	37ℓ
重量	53kg



ミニメルター 10 レンタル
及び施工サポート致します。

使用指針

路面温度適用範囲

- 使用に適している
- 使用にお勧めできる
- 効力発揮できる限界
- 使用にお勧めできない

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16					
-22					
-28					
-34					

クラックカットシール施工時の舗装温度

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16					
-22					
-28					
-34					

クラックシール施工時の舗装温度

■ Nine カット始めました。



必要な量だけを
溶解することができます。

スーパーフレックス アスファルト舗装クラックシール材・コンクリート目地材

■溶解釜手順

条件：45m 未満 / 施工1回分 (m/0.3kg 使用量)

ミニメーター 10 を使用する場合

1箱の場合



NINEカットの場合



- ①スーパーフレックス1箱投入する。(ビニール覆ったまま入れる)
- ①スーパーフレックス NINE カット1欠片投入する。(ビニール覆ったまま入れる)
- ②プロパンガスにバーナーを取り付けバーナーを挿入し、トーチバーナー等で火をつけます。
- ③温度 380°F~400°F が適温です。
- ④コックを引き上げても材料が出ない場合、トーチでバルブを温めてください。

条件：135m 未満 / 施工1回分 (m/0.3kg 使用量)

ミニメーター 30 とミニメーター 10 を使用する場合

ミニメーター 30 とポアポットを使用する場合



- ①スーパーフレックス3箱まで投入できます。(ビニール覆ったまま入れる)
- ②プロパンにバーナーを取り付けパイプラインバーナーを挿入します。
- ③レギュレーター黒いダイヤルの位置を確認します。
- ④空気量の位置を確認しバルブを開きます。
- ⑤トーチバーナー等で火をつけます。



- ⑥温度 380°F~400°F が適温です。
- ⑦バルブのコックを引き上げ金属バケツに移します。(やけどには注意してください)
- ⑧コックを引き上げても材料が出ない場合、トーチでバルブを温めてください。
- ⑨ミニメーター 10 に移し変え、少しミニメーター 10 を適温まで温めます。
- ⑩ポアポットに移し変え、少しトーチバーナーで適温まで温めます。

■スーパーフレックス施工手順 / ミニメーター 10 使用の場合



- ①ビリーゴートでクラック目地掃除をする
- ②ブロワーで清掃
- ③路面温度が 10°C 以下の場合、濡れている場合、バーナーで温める又は乾燥



- ④スーパーフレックスを充填し敷均す
- ⑤デタック液を散布 散布量 0.012ml 目安
- ⑥完成

MK Build エムケービルド株式会社

関東支店・関東工場 〒344-0051 埼玉県春日部市内牧2460-14

TEL. 048-708-0717 FAX. 048-611-9493